

社会教育事業アルバム

6月中に行われた
社会教育事業を紹介します。

社会教育
だより

6月27日(土)冒険!まなび隊



～第1回目学習会の1コマ～

4～6年生を対象とした冒険!まなび隊は、会津自然の家を会場に1回目の学習会を行いました。参加者は、仲間づくりゲームやバームクーヘンづくり挑戦し、楽しい1日を過ごしました。

6月20日(土)わんぱく広場



～座禅に挑戦中～

3年生のわんぱく達が、玉井の玉泉寺において座禅に挑戦しました。住職さんより「座禅は修行の1つです。姿勢を良くし、呼吸を整え、心を落ち着かせましょう」と教わり、子ども達は真剣に取り組みました。

2015成人祭 実行委員会発足

本年成人を迎える若者たちが、自ら企画・運営する成人祭実行委員会を6月8日に立ち上げました。

今年度は、「日本で最も美しい村」にちなんだ企画を考えるなど、8月15日の成人式・成人祭を成功させるために準備を進めています。



“新”村指定文化財紹介

シリーズ1

【神原田神社の絵馬】

神原田神社は、六社明神または六所明神といわれたが、明治4年(1871)神原田神社と改称された。村内古社の一つといわれ源義家が戦捷を祈願したという伝承がある。『積達大概録』には文政5年(1822)根本卯兵衛が、京都神祇官統領より正一位六所大明神の号と神璽を賜り、安達郡旧上大江村に勘遷したとある。神社では元禄年間に伝えられたという十二神楽が今も奉納されており、村指定無形民俗文化財になっている。(大玉村の文化財第2集『伝統民俗芸能』より)。

拝殿には多くの奉納絵馬が掲げられ、紀年銘のあるものでは文政11年(1828)が最古で、天保期および明治期のものが多く、大絵馬のほか小絵馬も奉納されている。絵馬の題材は故事に基づくものが多い。絵師名と落款のあるものが比較的多く、絵画的にも優れたものが多い。奉納者は、近村をはじめ旧安達郡、旧安積郡、旧信夫郡、旧田村郡など広範囲にわたっており信仰圏の広さを物語る。また、神原田神社境内全景の写生図絵馬は、社殿新築の記念に描かれたものとみられ、このような境内図の絵馬は珍しい。

いずれも彩色がよく残り、地域の画人とみられるものが多く、村内及び近隣の文化史、また、当時の風俗や信仰など民俗的にも貴重な歴史・民俗文化財である。



【神原田神社境内全景の写生図絵馬(奉納時期不明)】